

ダリアの品種別吸水特性

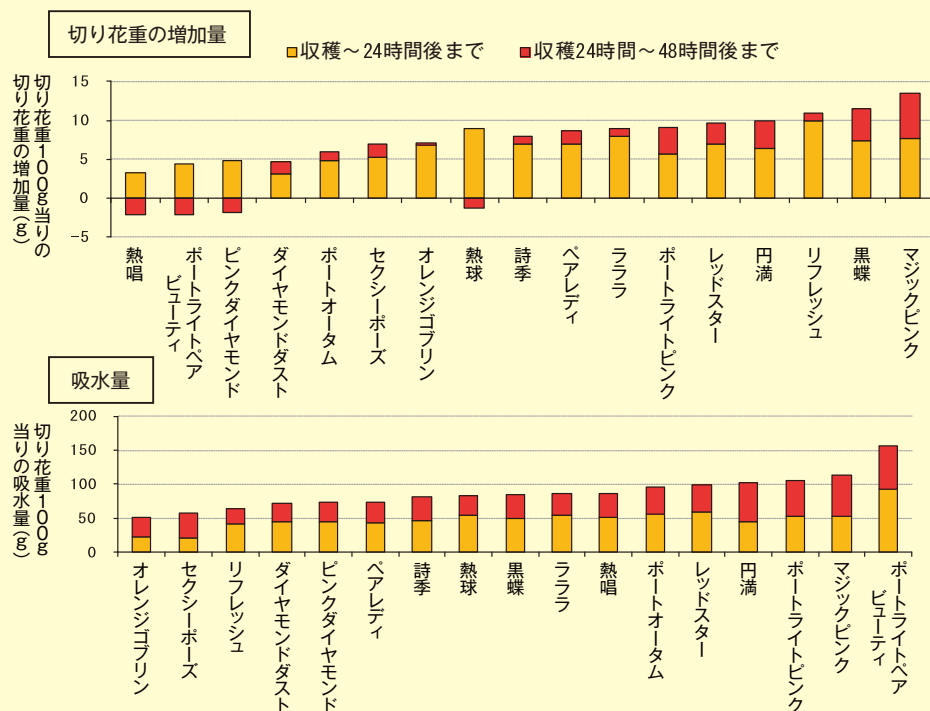


図 収穫後2日間の品種別切り花重の増加量と吸水量

注1) 温度25℃、平均湿度50% RH、12時間日長条件で調査。

2) 切り花重の増加量 (g/100gFW) :

(調査日の切り花重-前回調査日の切り花重) / 前回調査日の切り花重 × 100 で示した。

3) 吸水量 (g/100gFW) :

(前回調査日の水の重量-調査日の水の重量) / 前回調査日の切り花重 × 100 で示した。



‘ポートライトペアビューティ’



‘マジックピンク’



‘セクシーポーズ’



‘リフレッシュ’

ダリアは近年栽培面積が増加している品目です。年々品種数が増えており、花の大きさや色、形がバラエティに富んでいます。ここでは、当センターで栽培した主要17品種について収穫後の切り花重の変化と吸水量の調査を行った結果を紹介します。

葉を1対残して長さ60cmに調整したダリアを、気温25℃、平均湿度50% RH、12時間日長条件で2日間貯蔵して、切り花重と蒸留水の吸水量の変動を調査しました。

今回調査した17品種のうち、‘熱唱’と‘ポートライトペアビューティ’‘ピンクダイヤモンド’および‘熱球’の4品種では、収穫後24時間から48時間後までに切り花重が収穫時より減少して花卉のしおれがみられました(図)。

また、吸水量については、収穫から24時間

後に比べて24時間から48時間後までの吸水量が少なくなる品種が多かったですが、‘オレンジゴブリン’‘セクシーポーズ’‘円満’および‘マジックピンク’の4品種では24時間から48時間後までの吸水量の方が多くなりました(図)。

輸送中に当たる収穫24時間から48時間後の切り花重100g当たりの吸水量は、最も多い‘ポートライトペアビューティ’で約60g、最も少ない‘リフレッシュ’で約20gと品種によって大きく異なり、輸送中の吸水資材使用量を品種毎に変える必要のあることが示唆されました(図)。

17品種の25℃における吸水量を出荷する際の輸送中の吸水資材使用量の参考にして頂ければ幸いです。

(品質管理担当 松本久美 088-863-4916)